



M.I.P







もう1人の守護輝士を
庇つてソダメムが吐く濁流に
呑まれ、力尽きたマトイ…
ない様、泥が彼女を
飲み込んでいく…

いや…やめて…

！？
何…この泥…
体がつ…！

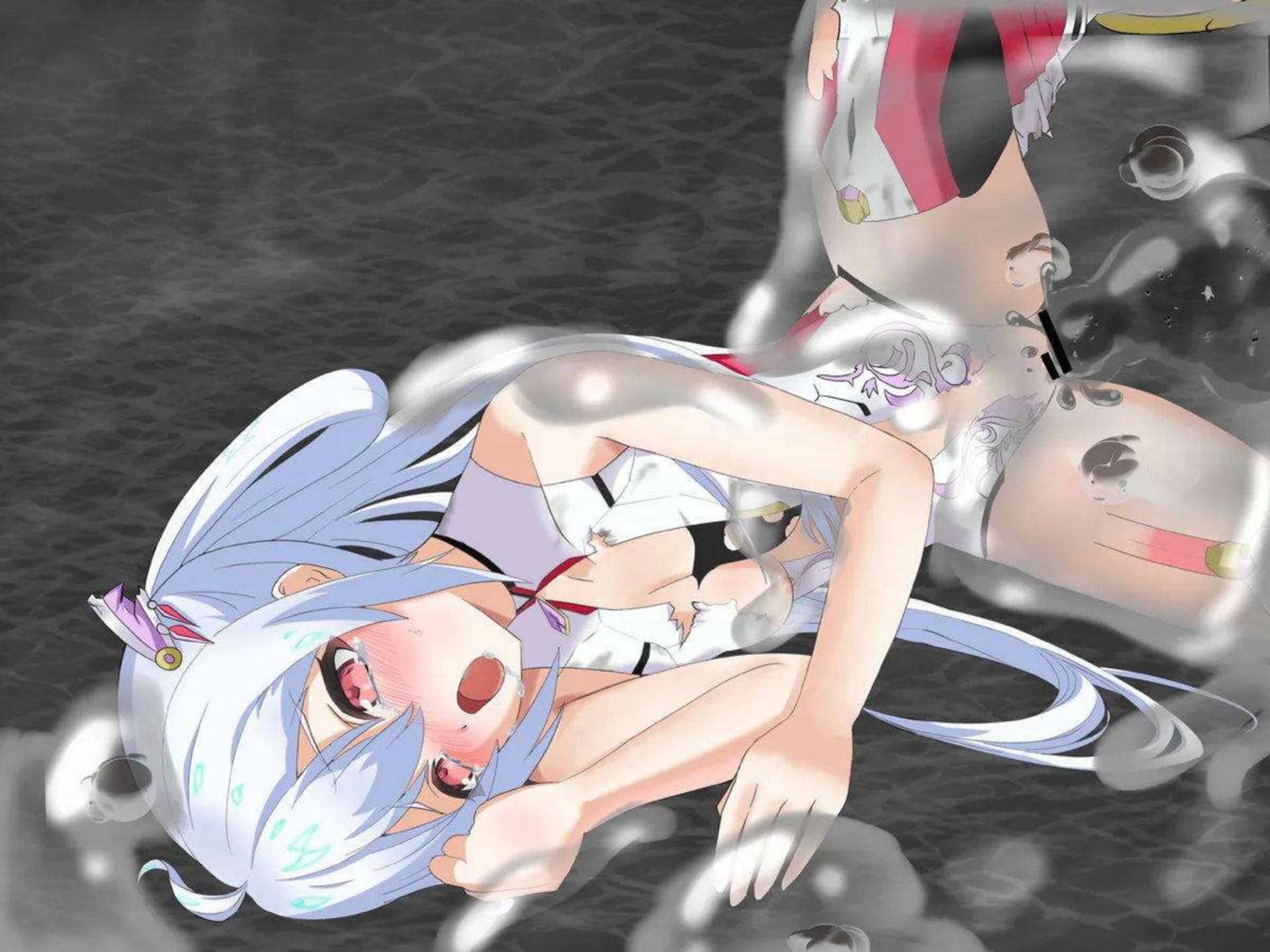
白い泥に快楽漬けにされ
マトイは身も心も完全に
蕩けさせられてしまった。
残された者たちも同じ運命を
辿るのは、時間の問題だった…。



一人で一緒に頑張つて：
ここまで来ただけど：
ダメだつたね、私たち…。
私は：
でも、あなたと一緒にいられるなら…。
ずっとこうしていられるなら…。











それじゃあ
今日も行つてくるね



マトイ
また一人で任務にいったのか？

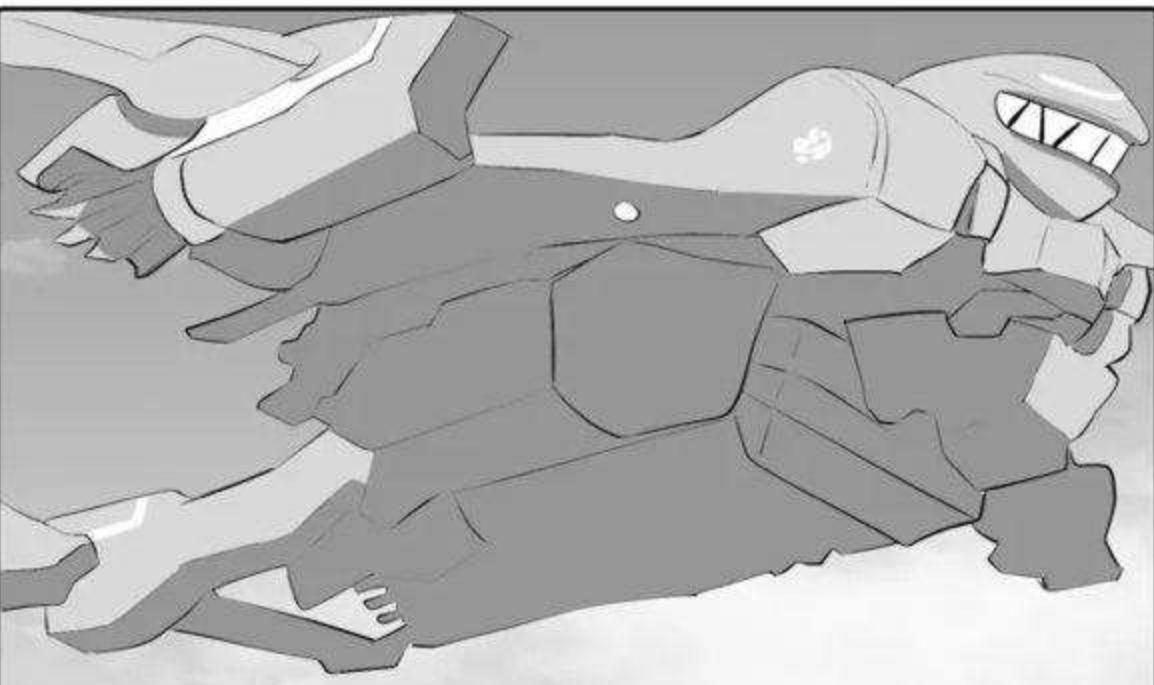
ああ



でも、怪しい相手じゃないと
良いけどな
この頃多いらしいんだ
女子のアーツにしつこく付きまとつたり、強引に
迫つたりする連中がさ

ネトラレ マトイ

説画：MIP



ナベリウス上空



それじゃ、いつもの
カッコしてくれる?

今日はこの辺で
しょうか

なに?
今更恥ずかしがって
どうしたの?

ああ……もう濡らしてたんだ
そんなにして欲しかったわけ?

駄目っ…

俺とするのが
そんなに
楽しみだったの？

ぬちゅ

す

あま

駄目って何？
こんなにヌルヌルなのに

ぬ

ぬ

ぬ

ああああああああ

ここをこんな風に
されたかったんでしょ？
ほらほら

くちゅ

くちゅ

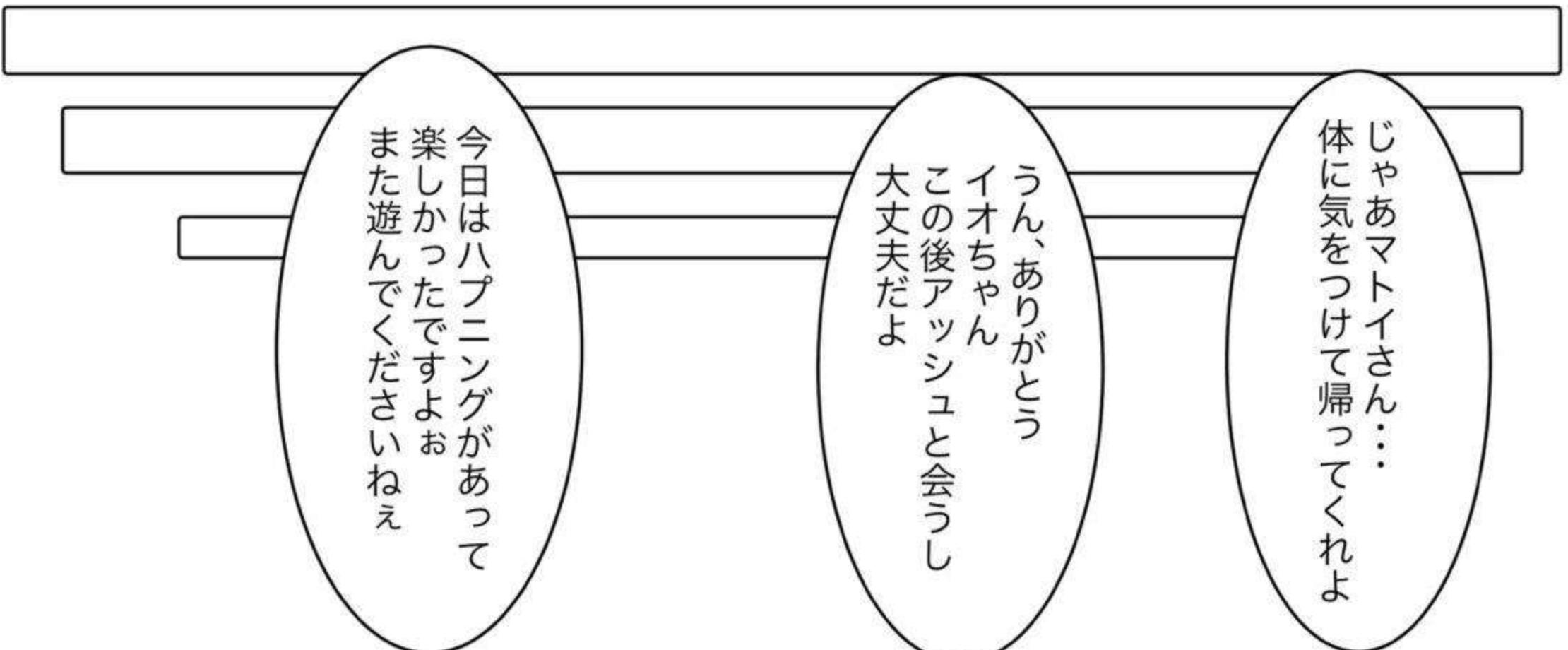
くちゅ













ああ、その話なんだが
マトイ…



これは俺からマトイに
話すべき事だ。そうだろ?





祝福してくれるか？

だからマトイ…俺たちを

全てが嫌になつたマトイは
千年後に目覚めるように
設定してゴールドスリープに
入つた。

深遠なる闇だ——つ！